

十・十一月の行事予定	防災訓練 10月14日(月)集合8:30 掃水小学校グラウンド及び体育館 掃田川クリーン作戦
	10月27日(日) 受付8:30~9:00 集合:松阪市第一水源地事務所
	ジャガイモ収穫祭 11月9日(土) *詳細は後日お知らせします
	文化祭 11月16日(土)~17日(日) 掃田地区市民センター

9月8日(日) 掃水小学校運動場において、三世代グラウンドゴルフ大会が開催され、各地区から78名の参加がありました。結果は次の通りです。

(チーム別)

優勝 御田 A
二位 豊原 B
三位 御田 B

三世代グラウンド
ゴルフ結果発表



平成 25年 9月 20日
掃水まちづくり協議会
87号

たくさんのご参加ありがとうございました♪



- ◇グループ別優勝
- ◇60歳以上の部
橋本弘三さん(御田A)
- ◇大人の部
橋本健司さん(御田B)
- ◇小学生の部
エハンス飛翔さん(清管)



8月24日、清水町の「はつらつクラブ」のやさしい畑で、じゃが芋の植えが行われました。クラブの皆さんに教えてもらいながら、親子で楽しく種植えを行いました。

収穫祭で収穫したじゃが芋を使って、子供クッキングを予定していますので、是非皆さんでご参加下さい。

～収穫が楽しみ～



じゃが芋種植え

アンケート集計結果の報告(2)

回答者の状況を円グラフで表しました

～文化祭作品出展のご案内～

11月16, 17日の文化祭に出展していただく作品を募集しております。

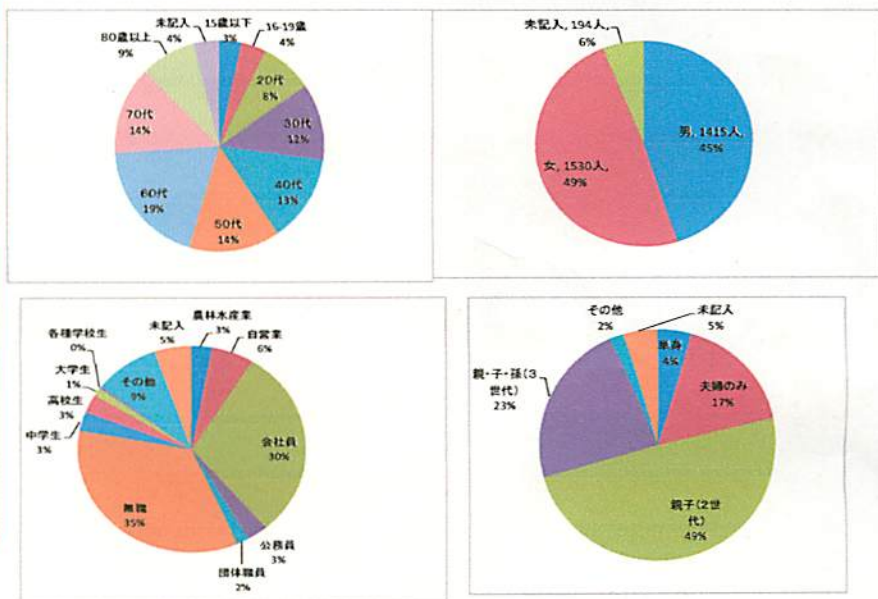
*絵画、写真、手芸、その他何でも結構です。

*詳しくは市民センター(まちづくり事務局)までご連絡下さい。

・締切/平成25年10月15日(月)

・TEL/0598-28-2675

(教育文化部)



四国八十八ヶ所霊場
歩き遍路物語(二十九)

豊原町 岩塚 章

一日この松山道後温泉で休養しようか

四十七番八坂寺、四十八番西林寺、四十九番浄土寺、五十番繁多寺、そして松山の中心五十一番石手寺前の休憩所でNHK松山局のテレビ取材を受けた。「お遍路さん四国遍路に何故出られたのですか」

「ハイ、この八十八ヶ所お寺を歩いて廻れば何かを身につけられるのではと」

「そうですか。なにかとは何でしょう」

その何かをここまで来ても言葉に出来ない。「むつかしい質問でしたネ」

わずか十秒たらずの取材・遍路たるや何ぞやの質問に答えられずここ松山に来てしまったのの後半分の遍路旅で結果が出るのだろうか。何かは出せるかな。石手寺の本堂で合掌した。

今日は四十七番、八坂寺から五十一番の石手寺まで五ヶ寺お参りすることが出来た。道後温泉前の浪花屋旅館に泊る。四月二十二日三十四泊目である。今日は少し早く着いたから坊っちゃん列車蒸気機関車の所で記念

写真を撮っておこう。三脚を立てて七、八枚撮った。道後温泉坊っちゃん湯本館前にも行った。観光とまではいかないが一時間あまり遍路から外れた時間を作られた。これも心の癒しなのだろう。

幸、浪花屋旅館も温泉の内湯がありゆっくりお湯に体を沈め疲れを取ることが出来た。やはり一から十まで遍路、遍路では、ひとときでもその道から外れることも明日からの勇気付けになる。宿での眠り。安らかな朝になった。

一日この温泉でゆっくりと思っていたのにそれもしない。やはり前に進みたい。その一念が先に立つのでしよう。早々と次のお寺五十二番太山寺に向って七時の出発である。太山寺をお参り五十三番円明寺を打ち雨の一日になって来た。雨の日は一層辛い。心も体も足元までもが重い。お天道様、時には隠れた時もありませんよな。こんな日こそ「あゝこれがお遍路の真髄なのだ。」そんな思いで今治方面に足を動かした。

伊勢街道を歩いてみた②

【お蔭参り】

我々が、歩き出したのは松阪商業高校前の辺りからである。道の幅は、普通乗用車がかろうじてすれ違いができる程度の幅であるが、多分昔とそれ程変わっていないとおもう。

江戸時代、この道をお伊勢参りの人々がたくさん往来した。通年では、二十万人〜五十万人(一日本平均一千人前後)といわれているが、伊勢神宮遷宮のあった翌年に多かった。

豊作も商売繁盛も、お伊勢さまのお蔭ということだ。「お蔭参り」といわれるようになったようだが、どういいうわけか六十年に一度驚異的な数の群集がお蔭参りを行った。当然、幅六〜七m程の伊賀町・豊原の道を通っている。

特に多かったのは、宝永二年(一七〇五年)四月〜五月の二カ月で三百六十二万人、明和八年(一七七一年)四月〜五月に二百万人、文政十三年(一八三〇年)三月〜八月、五百万人がお蔭参りをした。

宝永二年のお蔭参りについては、本居宣長の「玉勝間」によると、閏四月九日から五月二九日のたった五十日間に少ない時間で二〜三千人、最も多い時で二十三万



つづく

人が通り、三百六十二万人を数えたということが書かれている。また、明和八年のお蔭参りについては森壺仙(もりこせん)(寛保三年(一七四三)〜文政十一年(一八二八))という松阪商人の「いせ参御蔭之日記」に大変な賑わいぶりが書かれている。お蔭参りは抜け参りとも言われた。それは奉公人が主人に、また子供が親に断りもなく家を抜け出てお蔭参りにでたことに由来する。ところで、お蔭参りはなぜおきたのか、そのきっかけとなったのは何か(御師の働き)、なぜ四月から五月なのか(農閑期田植えが始まる前に関係)、などの疑問がわいてくる。



明星(一七九七年)

〜「伊勢古道と旧跡を訪ねる」〜

郷土文化歴史研究プロジェクトでは皆様の参加をお待ちしています。

*とき: 10月17日(木) 13時 榑田地区市民センター出発

*コース: 光蓮寺→榑田神社→観音寺→伏拝の松→西方寺→式内大榑田社碑

*参加費: 無料

事前に事務局(☎28-2675)に申し込んでください。

「掃水地区の日」は

9月25日(水)・10月23(水)

当日のみ有効
この案内と1,000円以上お買上げの方に

20ポイントプレゼント

Aコープくしだ

営業時間 10時〜21時(日曜日のみ9時オープン)

夜間レジ、ディリー部門パート募集中
惣菜、畜産部門パート募集中